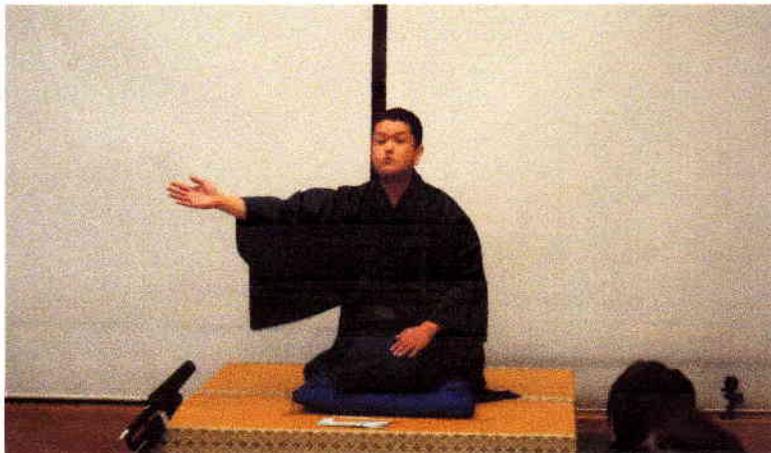


# 寺とも落語会



2月5日(日)午後2時～徳成寺において、寺とも落語会が開かれました。当日はあいにくの雨でしたが、たくさんのご参加を頂き、RSKとOHKのテレビ局まで取材にやって来ました。たった一人で全てを演じ切る究極の話芸・落語。登場人物たちの生き生きとした人間関係も魅力の一つです。

まずは三木高校お笑い同好会の会長にしてたった一人の部員。釣亭黒鯛くんが「初天神」を披露。この後の幸ん喜さんを父に持ち、藪太郎さんを師と仰いでいます。この親子での落語会と「初天神」がマッチして絶妙でした。地元紙にも「落語で元気届ける高校生」として紹介されました。



次は大学時代落研だった<sup>おちけん</sup>耕亭<sup>たがやしてい</sup>幸ん喜<sup>こうう</sup>さんの「こんにやく問答」でした。こんにやく屋のおやじが、お坊さんに成りすまし真面目な雲水と禅問答をして勝ってしまうという噺です。さすが！ベテラン。落語の中で、徳成寺を持ち上げることも忘れませんでしたよ。

トリを務めるのは、三木高校お笑い同好会顧問にして、香川のアマチュア落語界を引っ張る酔亭藪太郎さん。「抜け雀」を演じました。一文無しの画家が宿代を踏み倒し、代金がわりに置いた雀の絵から、雀が飛び出す噺です。親子の間柄をそれとなく諭すオチに一同納得でした。

